



「17の目標」

第4弾



目標 14

海の豊かさを守ろう

～海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用する～

プラスチックごみ問題

私たちの日常生活では、多くのプラスチック製品が使用されています。しかし、プラスチックは手軽で便利な反面、自然環境へ大きなダメージを与えています。なぜならば、石油などの限りある資源が原料であり、ごみとして放置されたプラスチックは自然環境では分解されず、長く自然界に残ってしまうからです。また、直径5ミリ以下のマイクロプラスチックが海に流れ込み、海洋生物がそれを食べ、その魚を人間が食べることによって健康被害を受ける可能性が指摘されています。他にも、プラスチックは焼却すると温室効果ガスである二酸化炭素が大量に発生するため、地球温暖化を加速させる要因ともなっています。

身近な魚が消えてしまう？

海は地球の表面の約7割を占めており、そこから私たちは生きるための食べ物など、多くの恵みを受け取っています。

近年は、世界の人口が増えて漁業の技術も進歩したことにより、『魚の乱獲（過剰漁業）』が問題となっています。世界的な健康ブームで魚を食べる人が増え、違法な漁も増加傾向にあります。このままの状態が続くと「マグロ」や「うなぎ」など、日本人が大好きな魚が絶滅してしまう可能性があります。そこで、魚や貝などの海の生き物をずっと獲り続けられるような仕組みを考えていく必要があります。私たち一人ひとりが海洋資源を守る行動を始めていきましょう。



私たちにできること！



- ✓ ゴミの分別をする
- ✓ ポイ捨てをしない、ごみ拾いボランティアに参加する
- ✓ 簡易包装されている商品を選ぶようにする
- ✓ 海洋プラスチック問題について学び、理解を深める
- ✓ シャンプーなどの日用品を買う時、2回目からはボトルではなく詰め替えパックを購入する

Q 環境に良い行動はどれかな？

1. 好きな食べ物をたくさん食べて、嫌いな食べ物は残す
2. 古いものは捨てて、どんどん新しいものを買う
3. マイボトルを持ち歩き、ペットボトルを使用しない
4. スーパーやコンビニで買い物する時はレジ袋を購入する
5. 外食時、食べ切れるか分からない量の食事を注文する

SDGsに関する情報は
町ホームページへ

